

僕たちが作る横浜の未来

大船渡市立越喜来中学校三年 西村 優太郎

コンパクトシティ化を推進すべきか、否か。

これは僕が体験入学で訪れた内陸のある高

校でのデイベートの議題だ。コンパクトシテ

イとは医療や役所などの公共機関やスーパー

などの商業施設を町の中心に集約することを

言う。デイベートでは「住民の利便性が向上

する」、「経済の発展が見込める」、「などの意見

を持つ賛成派と、「実際にコンパクトシティ

化を進めたが人口流出を止められなかった前

例がある」と主張する反対派とで白熱した議

論が展開された。

僕たちの住む町ではどうだろう。議論を聞

きながら考えた。特に岩手県沿岸地域では少

子高齢化が深刻化しているという現状がある。

ではコンパクトシティ化を進めれば良いのか。

僕はそうではないと考えている。その理由と

しては、僕の住む「横浜」という地域の特色

が関係している。

人口の多くが高齢者である。横浜は山に囲まれ、海に面した小さな漁村だ。この横浜の特色は地域の人の距離がとても密接だということだ。近年都市部では人口が増加し、隣人も入れ替わり立ち替わりで顔も分からない状況が多いと言われている。横浜では幼いころからみんながともに過ごして育って来た。大げさに言えば地域全体が一つの家族のようでもある。僕の家には祖母がいるが、いつも近所のおばあちゃんが誰か来てお茶を飲んで一緒に話をしている。「みんながどうしているのか」「近頃の町はどうなのか」をみんなが話題にしている。本当にたわいのない。だけど、お互いが元気でいるのかをみんなで見守る生活が自然と出来上がった。ていることが現れているのがよく分かる。また、こんなこともある。僕たちは普段、学校などでも誰かに会えばもちろんだいさつをする。された方もあいさつを返す。それが普通だと思っただろう。横浜ではどうか。あい

さっただけではない。必ずと言っていいほど次の会話があるのである。今日は暑いから気をつけるよ、とか、ばあさんは元気かい、とか、最近は何が釣れているのかなどの会話が生まれる。ここまですが、崎浜の普通である。こんなにも温かく家族のような人々の中で、僕たちはとても安心して生活できているのだ。

このように、崎浜という地域は他の地域と比べても大変人々が密接で、お互いにつながりを持っている。子どもたちも心を開き合っ

て結びついている。一つの家族のような関わりを持った素晴らしい地域なのである。コンパクトシティ化を進め、人々を町の中バに集約することでの利便性は向上し、高齢者の負担を減らすことはできると考えられるが、ここまで強固なコミュニティは壊れてしまっただろう。長年かけて育んだ地域の絆を破壊して良いわけがない。効率化を優先する中でも決してなくしてはいけない物があるだろう。そのうちの一つが僕たちの町・崎浜だと改めて

思う。

横浜はかつてとても多くの漁獲量を誇り、栄えていたという歴史を持っている。その当時はたぐさんの人々が横浜を訪れ、移り住んだ人々もたぐさんいたそうだ。それに比べると、確かに現在では漁獲量が減少している。漁業に従事する人全体も減ってきて、後継者不足は大変大きな問題となっている。もちろん、地元では衰退していく現状を見過ごしているわけではない。今は養殖漁業に力を入れ

ていて、それを加工して販売する二次産業も段々と発展してきている。

そんな歴史と先人たちの知恵と努力を引き継ぎ、僕たちがこれからの横浜の未来を担っていく。拙いなりにビジョンを持つべきだと思いい、あれこれ考えている。まず、この素晴らしい自然と人々に恵まれた横浜を多くの人に知ってもらおうこと。例えば、横浜でとれたウニやアワビなどの海産物や加工品などを振る舞うイベントの開催。横浜の豊かな海の幸

や温かい人々と会ってもらうこともできる。  
固いきずなで結ばれた横浜の人々で行えば、  
きっと成功するだろう。半分は夢だけど、す  
べてが本気だ。  
この考えはすべて自分の頭から生まれたも  
のではない。腹を割って話せる同じ横浜の仲  
間との語り合いから形ができてきた。育てら  
れた横浜への恩返しをしたいという気持ちは、  
この町の誰もが持っている。

実は、一度は横浜を出たいと思っ

ている。  
他の場所で学んだり、働いたりたくさんの経  
験をしたいと思う。そうすることで横浜に何  
が足りないのか、何をすることが大切なのか  
わからなかつた更なる魅力を見つけてことが  
できるかもしれない。そして必ず地元に戻っ  
て来て、地方でも活気を取り戻すことができ  
る、盛り上げていくことができないのだとい  
うことを発信していこうと思う。だから今は地  
域の方々への感謝を忘れずに学び、お互いに  
助け合う気持ちを大事にしていきたい。